

# 謹んで新年のお慶びを申し上げます



奥尻町長  
新村 卓実

## 町民の皆様 新年あけまして おめでと〜いございます

謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

令和3年の新春を町民の皆様とともに迎えられますことを、心からお喜び申し上げます。

皆様には、私が目指しております「町民が安心・安全に暮らせる」町づくりに対して、深いご理解と温かいご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、政界においては、我が国と同盟関係にあります米国において、トランプ大統領からバイデン次期大統領に今月交代となる予定であり、国内においては、安倍総理から菅総理に交代するなどリーダーの交代があった1年でありました。

世界的には、昨年1月に中国武漢市で発生した「新型コロナ

ウイルス感染症」は未だ終息に目途が立たず、国内においては第3波が襲来している状況にあり、コロナ禍は日本国内に大きな影響を及ぼし、東京オリンピックの延期をはじめ、春夏の甲子園大会の中止など、多くのスポーツやイベントに影響を与えました。本町においても「ムーンライトマラソン」や「三大祭り」・「敬老のつどい」など、町内のイベントを住民の生命を守るために中止といたしました。

水産業においては、本町の特産品でありますウニ漁は漁獲制限を強いられ、イカ漁においては温暖化による水温滞の変化により、本島周辺海域での漁場が形成されなかったことや大和礁における中国漁船の乱獲などから、漁獲量は大きく減少しました。

さらにコロナ禍は、観光客の入込数の減少にも繋がっており、ハートランドフェリーでは7月から9月下旬までの2便体制を1便体制での運航に変更しました。また、町内商工業者は、歓送迎会や忘年会の中止、さらには観光客の減少により大きな打撃を受けました。

このような地域経済の中ではありましたが「奥尻町総合

庁舎」建設については予定地となつている「旧奥尻小学校」を解体し、令和5年度の完成を目指しているところであります。

また、平成29年度より全国から入学生を募集した奥尻高校では、島留学生1期生が卒業し、令和2年度の島留学生の入学人数は、21名と過去最大となったところであります。

また、今年度の3年生は東京六大学へ2名が合格し、さらに道内の国公立や私大の4年制大学への合格、就職内定するなど順調に進路先が決定しているところであります。

次に今年の町政についてであります。本年2月には町長選挙が行われることから、新年度予算は骨格予算となりますが、令和3年度予算について何点か述べたいと思います。

前段でも申し上げておりますが「奥尻町総合庁舎」建設についてであります。

令和2年度より実施設計に着手しておりますが、3年度において最終的な実施設計書を完成させ、4年度から「強く・柔らかく・便利で賢い庁舎」の建設に向けた作業に入ります。

次に基幹産業の漁業についてであります。毎年期待して



副町長	田中 敦詞
総務課長	新谷 順二
地域政策課長	杉山 静治
税務国保課長	山崎 和範
建設水道課長	片石 裕文
水産農林課長	満島 章
保健福祉課長	三浦 成一
企業管理課長	三上 郁也
発電課長	松田 雅樹
青苗支所長(兼環境センター所長)	櫻花 幸久
空港管理事務所長	深瀬 洋治
会計管理者	安藤 寛
他職員一同	一同

# 新型コロナウイルスが早期に終息し、 町民皆様がより良き年となりますように...

おりますイカ漁やホッケ漁については、海水温の上昇や酸性化が深刻な問題となっており、本町周辺海域で漁場が形成されず、さらには中国漁船による違法操業により漁獲量の減少が続いており、漁船漁業の経営は深刻な現状にあります。このため「アワビ・カキ・ナマコ」などの磯根資源を中心に「採る漁業からつくり・育てる漁業」への転換を図っているところであり、継続的に養殖や放流を継続してまいります。

また「ワカメ」などの海藻養殖にも着手するための種苗系の造成に努めます。さらに、奥尻高校卒業生が漁業者になりたいとの希望がありますので、町の担い手育成事業の他に道の「担い手事業」を活用して支援してまいりたいと思います。

次に農業についてであります。ふるさと納税の返礼品として人気があります「奥尻米」や「奥尻ワイン」については、今後ふるさと納税を活用し、販売促進を図ってまいります。

次に観光についてであります。昨年はコロナ禍の影響により、本町と江差を結ぶフェリー航路については1往復の

みの運航となりましたが、コロナ禍が終息し、2便となることを期待しているところであります。

次に奥尻高校の島留学生の受検についてであります。今年度より中学生の受検機会を増やすことを狙いとして、新たに推薦入学試験を導入しました。また、今年はコロナ禍の影響を考慮して、この推薦入試における面接については、希望者に対して道内の公立高校では初となるオンラインでの遠隔面接を実施することとしました。

次にこの度の新型コロナウイルス感染症により、改めて重要性を感じた島唯一の医療機関であります国保病院につきましましては、町民が「安心・安全に暮らせる」町づくりのため、医師等の医療従事者の確保や施設の改良に努めてまいります。

次に令和元年度財政状況についてであります。実質公債比率は11・0%、将来負担比率は20・5%と早期健全化の目安となる25%、350%をそれぞれ下回っており、良好な財政状況を維持しております。しかし、町の貯金となります財調調整基金積立金は、8億2千5百万円と管内

で一番低い積立金額となっております。また、奥尻町総合庁舎建設等に係る基金としては、1億5千万円を公共施設整備基金として積み立てております。他にも老朽化している病院・整備工場の車検機器などの施設整備が予定されていることから、令和2年度においては、職員の協力のもと、職員給与費の自主削減を実施したところであります。

新年度においても、職員給与費の自主削減を実施するとともに、財政規模にあった新年度予算の計画を立てなければと思っております。

結びに令和3年は5年であり、今年はこの年から発展する前触れの年であると言われております。本町はあの北海道南西沖地震の大災害を乗り越えた町であります。昨年1年間は本町にとりまして、非常に厳しい1年でありましたが、今年も町民とともに一致団結し、新型コロナウイルスに打ち勝ち、新たに奥尻町が発展するための1年となり、町民の皆様にとりましてより良き年となるよう心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和三年 元旦

## 奥尻町国民健康保険病院

- 院長 竹下和良
- 副院長 泉里豪俊
- 歯科医長 渡邊一史
- 薬局長 渡邊久代
- 看護師長 阿部千賀子
- 事務局長 阿部千賀子
- 他 職員一同

## 奥尻町選挙管理委員会

- 委員長 小林賢三
- 他 委員一同
- 書記長 新谷順二

## 奥尻町監査委員

- 代表監査 松川博俊
- 他 委員一同
- 事務局長 青木陽一

## 奥尻町農業委員会

- 会長 海老原浩
- 他 委員一同
- 事務局長 満島章



# 町民一人一人が生きがいと 安心して暮らせる町づくりを目指して

町民の皆様

新年あけまして

おめでとうございます

令和3年の年頭にあたり

謹んで新年の

ご挨拶を申し上げます



## 奥尻町議会議長 麓 敏也



年号が令和に変わり、早3年目を迎え、時代の流れの早さを感じながら日々の生活を精一杯暮らされているとお思っております。その中で、昨年2月頃から発生しました新型コロナウイルスによる、健康・生活・経済とすべてにおいて、甚大な影響をおよぼされた1年でもありました。

一日も早く、日本でもワクチンの接種が受けられ、コロナ禍前の普通の生活が送られるようお願いいたします。

島の産業状況を振り返りますと、漁業においては、魚価の低単価、ウニ漁の数量制限、

イカ漁、ホッケ漁の不漁とこれまで以上の厳しい水揚げ高となり、後継者の育成に支障をおよぼすと危惧するところであり、早急に異常気象や自然環境に対応し、安定した水揚げができる漁業形態が求められます。

観光面においても、フェリーの減便なども重なり、前年度を大きく下回る入り込み数になっており、工事関係者の入り込みが増えてくれたことが少し明るい材料だと考えております。

年末にかけての、感染拡大の自粛要請も出されるなど、

奥尻町民にとっては、危機的な状況下の中での一年でありましたが、新しい年を迎え、町民一人一人の力を結束して乗り越えて行かなければと思っております。

行政、議会と致しましても国・道との連携を強化し、町民の皆様にとりまして、より良い1年になりますよう心よりご祈念申し上げます新年のご挨拶といたします。

令和三年 元 旦



奥尻町議会

副議長・総務産業常任委員

齋藤 伸彦

総務産業常任委員長・議会運営委員・広報編集特別委員

水野 諭

議会運営委員長・総務産業常任委員

寅尾 裕志

議会運営副委員長・総務産業常任委員・議会選出監査委員・檜山広域行政組合議会議員

青坂 賢二

広報編集特別委員長・総務産業常任委員・檜山広域行政組合議会議員

制野 征男

総務産業常任委員

工藤 勇

総務産業常任副委員長・広報編集特別副委員長

松塚 政継

事務局長 青木 陽一

他職員 一同



# 奥尻町教育委員会 教育長

## 石島 孝司

### 奥尻町教育大綱

### 『ふるさとに学び、次代を担う』

### あたたかい人づくり

#### 教育基本方針

1. 確かな学力の育成と豊かな心を育てる教育の推進
2. 奥尻町の風土に根ざす生活文化向上のための生涯学習の観点に立ち、ふれ合いと活力に満ちたまちづくりを目指す社会教育の推進
3. ふるさと奥尻を愛し、誇りが持てる人づくり

新年あけまして

おめでとうございます

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

町民の皆様におかれましては、希望に満ち溢れた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は本町の教育行政に深いご理解と多大なるご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより休校となったり、運動会や学習発表会等の行事も時間短縮や参加者の制限など、感染症対策を優先しながらの学校運営となり児童・生徒たちには大変不自由な学校生活だったのではないのでしょうか。1日でも早くもとの生活に戻るよう期待するものです。全ての子どもたちは島の大切な財産であり、奥尻町教育大綱に掲げた目標に向け、町民皆様と共に子どもたちの明るい笑顔と明るい未来が広がるよう引き続き教育行政の推進と発展に努めて参りますの

で今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。さて、この場をお借りし今年の教育方針などに触れたいと思います。

初めに学校教育についてです。国において推進している「ギガスクール構想」により、小中学校の児童・生徒に一人一台端末を整備するとともに高校にも生徒一人一台端末を整備し、令和3年度からデジタル教材等を使った本格的なICT活用教育がスタートします。

また、昨年度から学習指導要領の改訂により、小学校においてはプログラミング教育の必修化や外国語教育の拡充が図られ、中学校でも令和3年度から学習指導要領が全面改訂となり、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すこととなります。

高校教育では、奥尻高校が平成29年度から全国募集を開始して以来『島留学生』が全国から入学し、令和2年度には定員の20人に達しました。奥尻高校寄宿舎「松風寮」で奥尻島での生活がスタートし、奥尻で学んだ3年間の貴重な

経験を今後の人生の糧にし、大きく羽ばたかれるよう願うところです。

島留学生の受入れは高校存続のためにも必要な取組みで島の新しい交流人口であり、今後の奥尻町の活性化を担う頼もしい力となると考えます。また、今年度から推薦入学を導入し、希望者にはオンラインでの遠隔面接を実施することになりました。

町民の皆様も将来の自立のため親元を離れて暮らす島留学生に対し、地元の子もたちと同様に温かく見守っていただきたいと思います。次に社会教育に関わる部分です。

昨年は町の大きな行事が中止となるなか、成人式は出来る限りの感染予防対策をとりながら開催し、新成人にとっても主催者としても思い出深いものになったと思います。

また、継続してきた様々な事業に加え「おくしりチャレンジスクール」などの体験活動に力を入れてきました。地域人材との交流を深め、色々の成長、あたたかい人づく

りを育み、今後も家庭や地域と一体となった取組みを推進してまいります。

次に生涯学習の充実と文化スポーツ行事につきまして、4月からは現在策定中の「第9次奥尻町社会教育中期5カ年計画」に基づき事業を展開してまいります。

終わりになりますが、今後も教育行政に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

令和三年 元旦

#### 奥尻町教育委員会

教育委員 上野 史朗  
(教育長職務代理者)

教育委員 佐藤 康博

教育委員 千田 真紀子

教育委員 水野 展久

事務局長 阿部 元大

他職員 一同